

令和4年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文小学生の部 県知事賞 最優秀賞

「この先の未来へ」

鹿児島県 曾於市立財部小学校 5年 ^{たかはし}高橋 ^{ゆり}侑里

みなさんにこの先の未来は見えていますか。

私には、この先の未来が全然分かりません。特に、土砂災害や水の事故、火の事故、戦争のことが心配です。その中でいちばん身近なことは何かと考えたとき、土砂災害について考えてみることにしました。

わたしが、土砂災害について考えてみたときに、大事にしたいと思ったことが4つあります。

1つ目は、土砂災害が起きる前に、避難所を確認することです。避難所を確認していないと、もしもの時に分からなくなったらこまるし、にげおくれたら自分の命が助からないかもしれないからです。「あまり土砂災害はないから。」という安易な思いではなく、「いつ起こるか分からない。」という思いが大切だと思います。前に、社会科の学習で「ハザードマップ」について学習しました。身近にあるきけんについて、確認をしたいと思います。

2つ目は、避難所に行く前の食べ物や飲み物の確認です。避難所のにげてから、自分が持ってきていなかったとしたら避難所で過ごせないかもしれないし、もし、避難所に食べ物などがなかったとしたら、土砂災害がおさまるまで時間がかかるので、体力が持たないかもしれないからです。

3つ目は、避難所に着いて自分のことだけではなく、周りにいる人を少しでも助けることです。その理由は、自分が周りの人を助けるだけでも、周りの人は笑顔になると思ったからです。土砂災害で悲しみはあるかもしれないけれど、笑顔でいたいからです。笑顔になれば、自分の心や体が元気になると思います。大変なときにこそ、笑顔と元気が1番必要なのではないかと思います。

4つ目は、土砂災害が終わった後のことです。終わった後は、家に帰ります。そのとき、家がどうなっているのか、想像が付きません。でも、そんな時にこそ、自分にできることなら何でもしたいと思います。できることをおたがいに協力し合って助け合えれば、うれしい気持ちになって、自分もいい気持ちになると思ったからです。人はみんな、助け合いが1番必要だと思います。大変なときこそ、助け合いをする時だと思うし、みんな仲良くすることが必要だと思います。助け合いがないと人は生きていけません。仲良くしていたら助け合いもできます。助け合いと仲良くすることは大切なことだと思います。こまっている人がいたら教えてあげたり、手伝えることがあったら手伝いをしたり、身の回りには、よりよく生きていくために必要なことがたくさんあります。でも、わたしは、家族や近所の方とは仲良くできているけれど、友達といっしょに遊んでいる時や宿題をする時などに、けんかをしてしまうことがあります。だからこれからは、相手のことを考えて、けんかをしないようにしていきたいと思います。

この先の未来は分かりません。土砂災害のことについて考えてみて、一つ一つ確認することが大切だと思います。一つ一つとは、避難所や食べ物や飲み物など命を守るためのもの、自分だけではなく周りの人との助け合いや協力のことです。この先の未来のために、わたしは、これからも大切にしていきたいと思います。